北諫早の風

【校訓】
○えがお（徳）
○ゆめ（知）
○げんき（体）

諫早市立北諫早小学校
学校だより
令和8年8月19日（水）
文責：原田　秀紀

平和な世界がいつまでも続きますように！



メディアルームでの撮影・配信の様子

８月９日、８１回目の原爆慰霊祭が長崎市の平和公園で開催されました。それに合わせて、本校でも平和集会を開催して恒久平和に思いを馳せました。

平和集会では、人権平和集会委員会が中心になって会の進行や「平和都市諫早宣言」の紹介をしたり、各学年の代表児童が平和学習をしての感想を発表してくれました。

それぞれの学年で、動物を題材にしたビデオ映像を観たり、諫早の被爆二世に会のみなさんからの話を聞いたり、国語科の教材から当時の人々の生活について考えたり感じたりしたことを話し合ったりして、命の大切さ、仲良くすることの大切さなど、日常生活の中でできる平和について学びを深めてもらいました。



【感想発表者】
１年　中村月映さん
　　松山智也さん
　　髙橋七海さん
２年　森咲桜里さん
３年　的野芽生さん
４年　増山紗由貴さん
５年　鶴田彩也花さん
６年　髙瀬一颯さん

～校長の話（一部抜粋）～

今から81年前の1945年（昭和20年）8月9日午前11時2分の私たちが住んでいる長崎に原子爆弾が落とされ，約7万人、今の諫早市に住んでいる人の半分より多い人たちの命が奪われました。また、生き延びた人たちの中には原子爆弾の放射能という悪い物を体に浴びたせいで重い病気になったり，その病気になった人の子供も同じ病気になったりして，これまでに約20万人（今の諫早市と大村市に住んでいる人の数ぐらい）の尊い命が奪われています。

二度とこのような悲しい出来事が起きないように，世界中の人たちが平和な毎日を笑顔で過ごすことができるように，私たちにできることや守っていかなければならないことを考える日として，毎年８月９日長崎県のすべての学校で平和集会をしています。長崎県に生まれ，そして住んでいる私たちには世界に向けて平和を伝え，守り続けていく責任があるからです

では，平和な毎日を送るために，どんなことに気を付けたり，取り組んだりしていけばよいのでしょうか？

わたしが気を付けていることは，…

○笑顔で「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「また明日ね」などのあいさつをすること。

○「大丈夫だよ」「よくできたね」と思いやりの言葉をかけること。

○手伝ってもらったときは、「ありがとう」。相手を怒らせたりしたときは「ごめんなさい」ということ。

○「仲間外し」など自分がされて嫌なことは，まわりの人にも絶対しないこと。

などです。

また、みんなで決めた北諫早小のスローガンの中にも、みんなで叶えたいこととして「笑顔」「なかよし」があります。ずっとみんなが幸せで楽しい毎日が過ごせるように力を合わせていきましょう。

そして，私たちの命は，戦争中、そして戦争の後の苦しい生活の中で，みんなのおじいさんやおばあさん，その上のひいおじいさんやひいおばあさんたちが一生懸命つないできてくれた命ですから大切につないでいきましょう。

平和な毎日を笑顔で過ごすために…

○あいさつをかわすこと。

○思いやりのことば　⇒　「安心」「うれしい」
「だいじょうぶだよ」
「よくできたね」
「ありがとう」「ごめんね」

○自分がいやなことは、ぜったいしない。

北諫早小学校スローガン

笑顔（えがお）　挑戦（ちょうせん）　なかよし

・あいさつ最高（さいこう）　北小（ほくしょう）
・勇気（ゆうき）最高（さいこう）　北小（ほくしょう）
・やさしさ絆（きずな）最高（さいこう）　北小（ほくしょう）



活躍してくれた人権平和集会委員会のみなさん

歌「この時代に」を歌う子どもたち



平和都市諫早宣言にあるように、「楽しく生きる」「輝く未来、つながるいのち」が永遠に続くことを、みんなで祈り、誓いましょう。

百日紅公園での原爆慰霊祭







８月１１日（火）天満町にある百日紅公園で、第８回諫早原爆犠牲者慰霊祭が行われました。諫早市原爆被災者協議会のみなさんに平和学習でお世話になった４年生の中から代表８名が参加して、「平和への誓い」や「千羽鶴奉納」を行いました。百日紅公園は、原爆投下後に諫早へ避難されてきて尊い命を亡くされた方々の御霊が奉られている場所です。二度と戦争の惨禍が起こさないように、未来の平和を願う地域のシンボルとして大切にしていきたいと思います。
（公園は、本明川沿いにあるＳＴスポーツ店から入って行ったところにあります。）

～平和の誓い（代表の子供たちが述べた誓いの言葉です）～

本日は、原爆で亡くなられた方々を思い、心からお祈りします。

私たちは、総合的な学習の時間に、平和について学び、被爆者二世の方のお話を聞きました。

原爆は、一瞬で多くの命を奪い、人々の幸せな暮らしを壊してしまいました。そして、直接原爆にあっていない諫早の人々も、とてもつらく苦しい思いをしたことを知りました。私たちは、戦争は、人の命や笑顔、未来を奪う、とても悲しいものだと学びました。

私たちは、個の学びを忘れません。そして、平和の大切さを家族や友だち、これから出会う人たちに伝えていきたいと強く感じています。

一人一人が相手を思いやり、命を大切にすることが、平和につながると信じています。

私たちは、戦争のない平和な世界が続くことを願い、そのために自分たちにできることを考え、行動していくことをここに誓います。